

みえ熊野学地域巡回講座 in 紀宝町



講師：花尻 薫 氏

(みえ熊野学研究会副運営委員長)

演題：聖地熊野の祭りと磐座信仰

約1,400万年前に地球のマグマが創世した巨岩帯
= 平尾井薬師・神内神社などの巨岩が語るもの =

【とき】平成24年11月7日(水)

午後6時30分～午後8時00分まで (開場:午後6時～)

【場所】紀宝町 まなびの郷 2階 研修室 ※ 入場無料 事前申込不要

紀伊半島南部には、いたる所に巨岩があり、マグマが噴き出した痕跡が認められる。平尾井薬師の足形岩、神内神社の巨岩を噛む楠の巨木、社殿奥のご神体と巨岩、丹倉神社の大岩など、奥熊野には人が住むと同時に神や仏を感じて、手を合わせた聖地が自然の中に鎮座している。

<磐座=いわくら>とは、人が頭をたれ、この世に感謝し、自然を敬う聖地である。



巨岩の上で成育した楠の巨木
(神内神社)



巨岩が御神体
(神内神社)



お駕迎さんの足跡といわれている巨岩『足形岩』
(平尾井薬師神社)